

レントゲンについて

歯科医院で撮影するレントゲンは大丈夫？

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



歯は歯科治療時に診断を行なうのに必要なレントゲンですが、放射線の量を気にされる方も多く、特に複数枚の撮影になると心配される方も多いようです。

当院では、デジタルレントゲンを使用して撮影するため、放射線被ばくを、従来のフィルムレントゲンに比べて1/4～1/16程度におさえることが可能です。

日常生活で自然に浴びている放射線量は、平均で約1.5mSv（ミリシーベルト）/年と言われており、デジタルレントゲンによる撮影での放射線量は、

- 小さいレントゲン（口内法、1部分の撮影）…0.01mSv
- 大きいレントゲン（パノラマ、全体の撮影）…0.03mSv
- 歯科用CT…0.1mSv

で、自然界の放射線量と比べても極めて微量です。

また、医科のレントゲンの放射線量では、

- 胸部レントゲン…0.05mSv
- 腹部レントゲン…0.24mSv
- 頭部CT…2mSv
- 体幹部CT…13mSv

で、医科のレントゲンと比べても歯科医院で撮影するレントゲンは安全性は非常に高いものですので、ご安心ください。

